



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな史 59

明知城跡

光秀生誕の城と伝わる



▲山の頂上にある本丸跡

ひと口メモ

伝承によれば、明智家の11代光秀は、1526(大永6)年に当時、明知城があった現千畳敷公園で生まれたと言われている。この山の上には、井戸水を産湯に使ったと言われる「光秀産湯の井戸」が今も残っている。

市の南部では岩村城に次ぐ規模の城郭で、別名「白鷹城」とも呼ばれる。明智町の東側にそびえる標高530mの通称城山の頂上に位置し、当時は恵那郡における織田信長軍の拠点であったとされる。1247(宝治元)年、源頼朝の重臣加藤景廉の孫である明知遠山氏の始祖、景重の築城による遠山氏累代の居城であったが、1574(天正2)年、武田勝頼の軍勢に攻められ落城。

天然の険しい地形を巧みに利用した山城で、石垣のない土づくりの城砦として規模も大きく保存状態もよい。県の史跡に指定されている。



▲明知城跡のある城山は、ウォーキングコースにもなっている

勝川克志

フジテレビ系列で放映

えな自慢
えな人 60



▲18歳で上京して漫画家として活躍している

ひと口メモ

2007(平成19)年に発刊された「庄太」(さんこう社)は、昭和30年代の山岡町が舞台。山岡のいろんな場所が物語に登場する。しかも、せりふはすべて恵那弁で、懐かしさいっぱいだ。今春に、落語を漫画にした「まんが落語ものがたり事典」も出版した。

山岡町出身の漫画家。1950(昭和25)年生まれ。作品は、1992(平成4)年フジテレビで放映された「まぼちゃん旅行記」など。18歳で上京、デザイン会社、アシスタントを経て、1970(昭和45)年ごろ、「まんが王」(秋田書店)に四コマ漫画が数本掲載。1978(昭和53)年「わたしのお兄ちゃん」(ヤングコミック・少年画報社)で本格デビュー。漫画同人誌「跋折羅」の創刊メンバーでもある。また、ミニコミ紙「のんき新聞」を発行している。丸い描線によるとてもデフォルメされた懐かしい絵で、夢のある話や、ノスタルジックな作品を描く。作品は非常に少なく、絶版プレミアム本となっているものが多い。その代わり表紙、挿絵やイラストの需要が多く、今後の活躍が期待される。



▲山岡町の青パトと勝川さんデザインの「まもるくん」

次号は11月15日号
発行日は11月15日(火)です

広報えな No.162
2011年(平成23年)
11月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』11月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.1円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム(閲覧用QRコード)
□問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

